HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	午後の講座 ： オープンアクセスとハゲタカジャーナル
Author(s)	北海道大学北キャンパス図書室
Description	午後の講座 ： オープンアクセスとハゲタカジャーナル（Afternoon Talk on Open Access and Predatory Journals）. 2018年10月25日（木）, 2018年10月29日（月）, 2018年10月30日（火）, 2018年10月31日（水）. 北海道大学北キャンパス図書室, 札幌市.
Issue Date	2018-10
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/71762
Rights(URL)	https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/
Type	lecture
File Information	201810_gogotalk_oapj_j.pdf, Japanese version (pdf file)

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

北海道大学北キャンパス図書室「国際オープンアクセスウィーク2018」企画

午後の講座

オープンアクセスとハゲタカジャーナル

Afternoon Talk on Open Access and Predatory Journals

2018年10月
北海道大学北キャンパス図書室

CC BY

午後の講座：オープンアクセスとハゲタカジャーナル

1．ハゲタカジャーナルとオープンアクセスと私たち

2．オープンアクセス

3．ハゲタカジャーナル

4．ハゲタカジャーナルに巻き込まれないために
    1．特徴を知る
    2．学術出版業界のホワイトリストを調べる
    3．収録基準を有する学術文献データベースを調べる
    4．ブラックリストを調べる
    5．ジャーナルの評価指標を鵜呑みにしない

5．リテラシー・冷静さ・コミュニケーションがカギ

1．ハゲタカジャーナルとオープンアクセスと私たち

粗悪学術誌（**ハゲタカジャーナル**：predatory journals）
- 著者が支払う掲載料による収益のみを目的とする学術誌
  →**オープンアクセス**のビジネスモデルを悪用
- 査読が杜撰で，掲載論文の質は保障されない

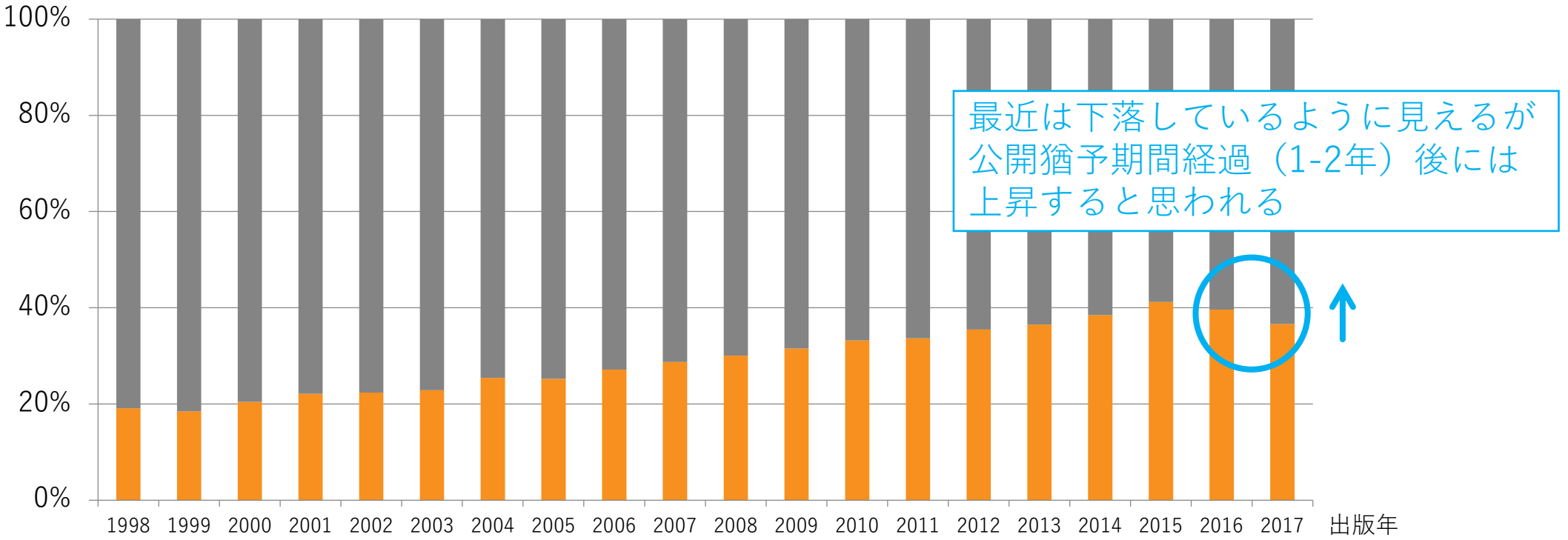
毎日新聞の報道で広く話題に
- 粗悪学術誌：ネットで急増 査読ずさん，掲載料狙いか 2018-04-03
- 粗悪学術誌：日本から5000本 東大や阪大 論文投稿，業績水増しか 2018-09-03
  →調査によると**北海道大学**は国内で7番目に多い（15年弱で74本）
- 粗悪学術誌：九大が対策 国内初 投稿巡り注意喚起 2018-09-03
- 粗悪学術誌：対策に大学本腰 聞き取り，投稿ルール 掲載上位の名大，新潟大 2018-10-10

→詳しくは毎索を「粗悪学術誌」で検索
https://dbs.g-search.or.jp/WMAI/WMAI_ipcu_login.html

2．オープンアクセス

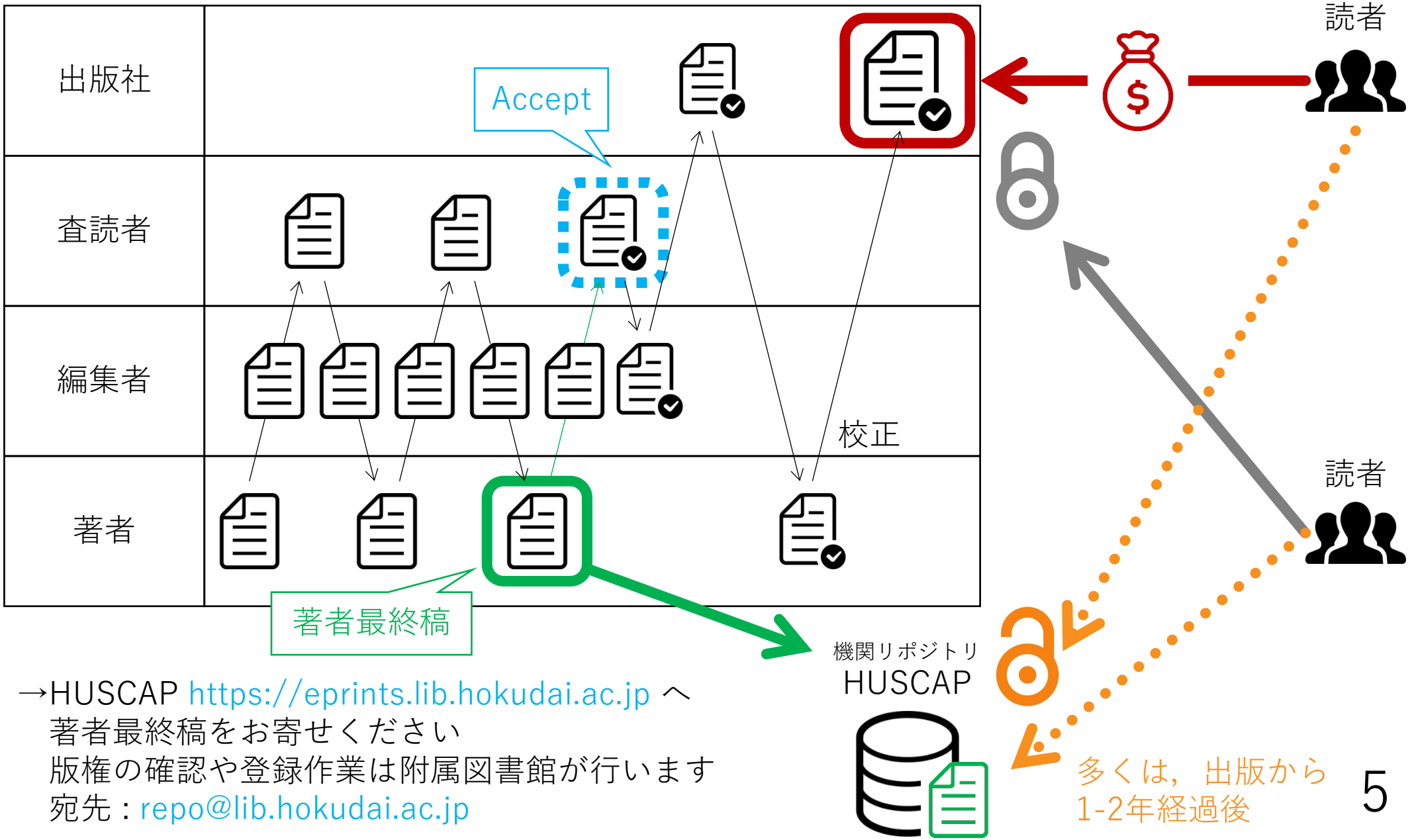
学術成果をインターネット上に公開し，
誰もが無償で利用できるようにすること

北海道大学の論文に占めるオープンアクセスの割合
・1998年：出版論文の20% → 2017年：出版論文の40%



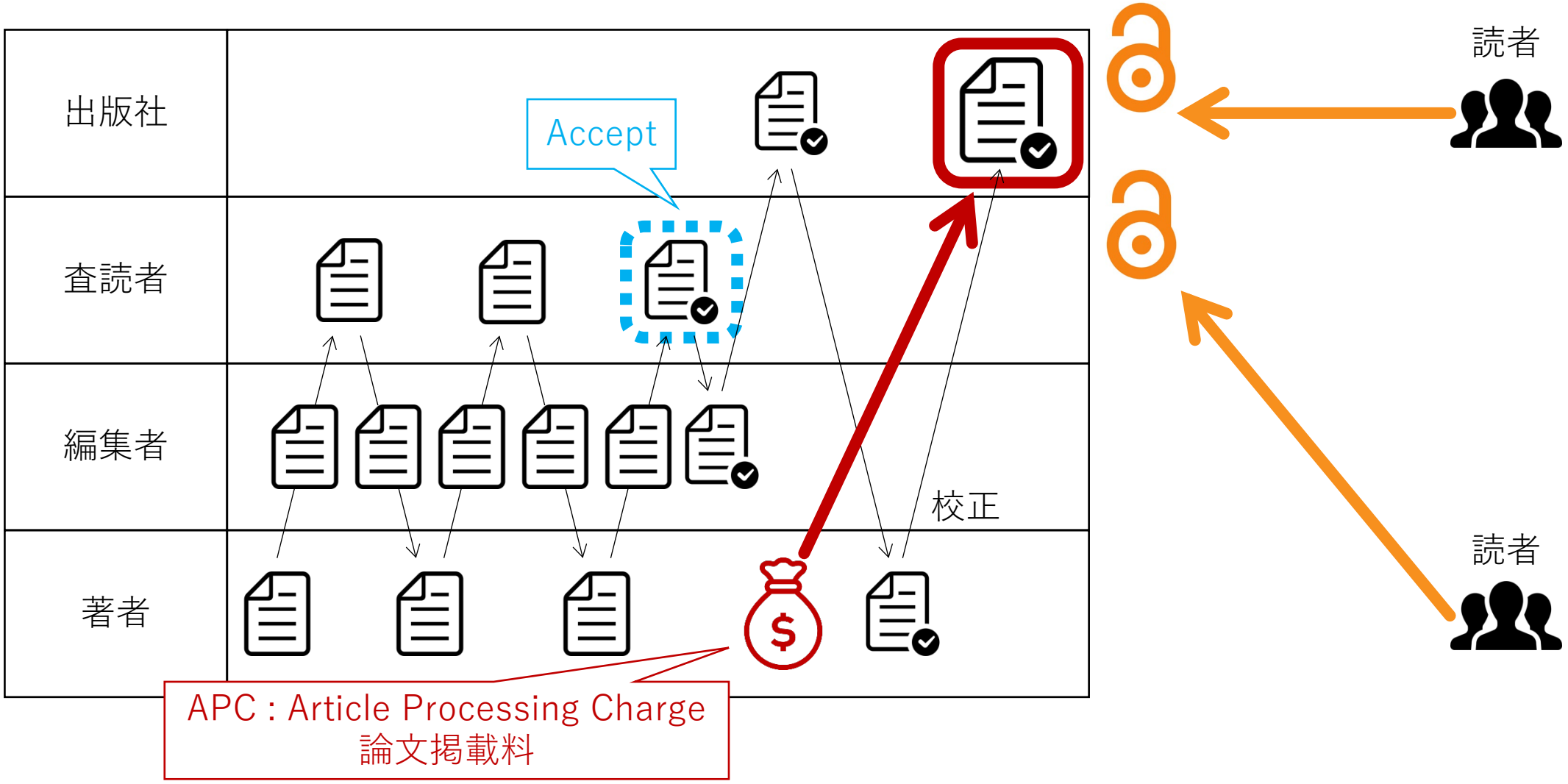
ImpactStoryとの連携によりWeb of Science上で論文がオープンアクセスか否かを調べられる（参照 2018-10-18）
検索条件：索引ファイル＝SCI-E，SSCI，A&HCI　ドキュメントタイプ＝Article，Review　所属機関-拡張＝Hokkaido University

2．オープンアクセス
グリーンオープンアクセス



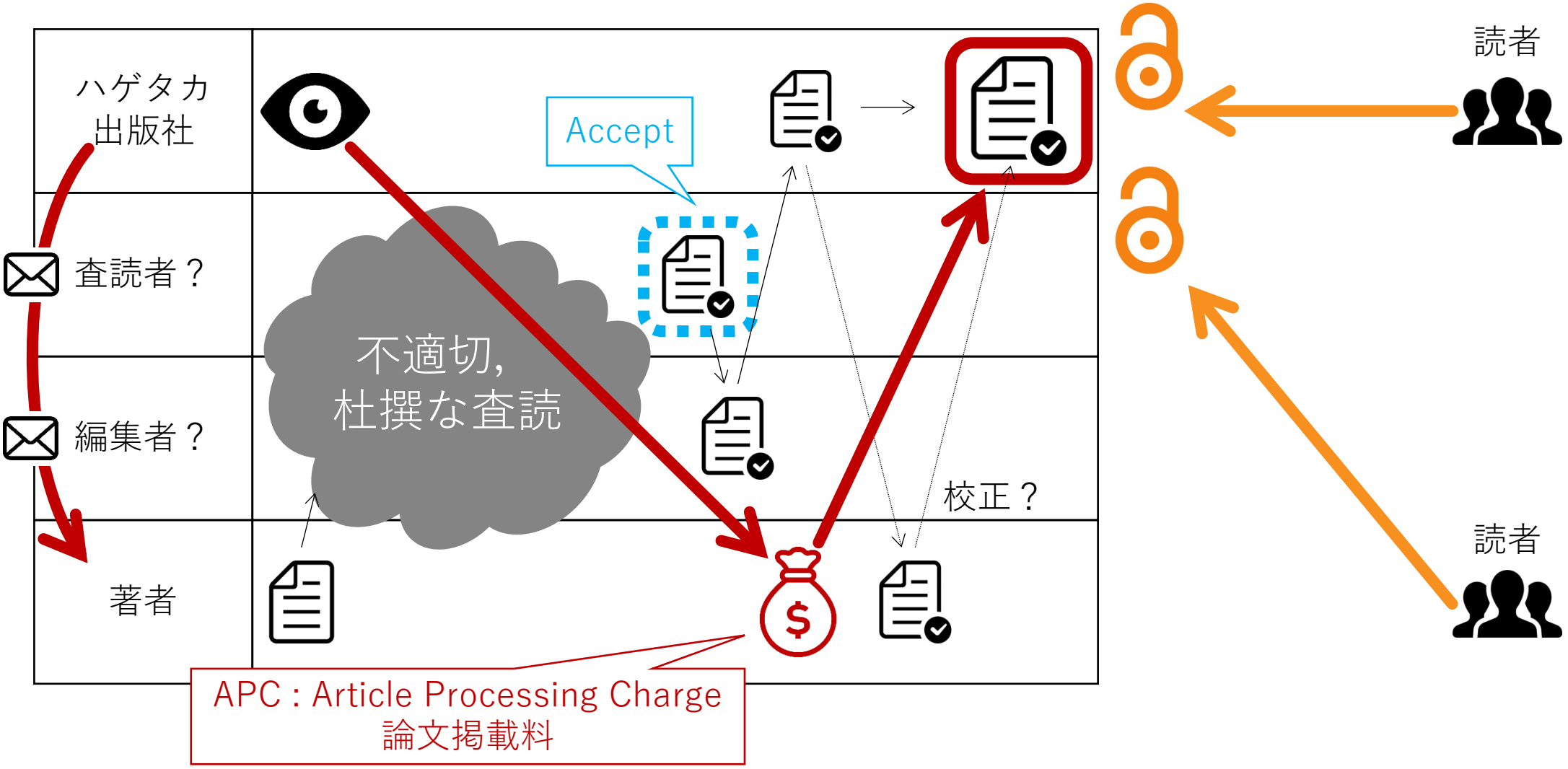
→HUSCAP https://eprints.lib.hokudai.ac.jp へ
著者最終稿をお寄せください
版権の確認や登録作業は附属図書館が行います
宛先：repo@lib.hokudai.ac.jp

2．オープンアクセス
ゴールドオープンアクセス



→オープンアクセス論文投稿支援（APC割引情報）
https://www.lib.hokudai.ac.jp/support/apc

3．ハゲタカジャーナル



ハゲタカ出版社はAPCを目当てに，投稿を促す
不適切，杜撰な査読しか受けていない研究成果が公開される

3．ハゲタカジャーナル
懸念される問題群

研究成果の妥当性への疑義
・学術文献データベース非収録による流通停滞や業績評価の対象外化
・一方で，杜撰な査読による見落としがGoogleなどで流通する可能性

APC支払い上のトラブル
・当初提示されたAPCよりも高額な請求事例も

出版プロセスの非整備
・撤回に応じない事例→「二重投稿」になるため他誌に発表できない
・出版後の永続的な保存体制にも疑問

研究者個人や所属大学の社会的な評判の低下
・ハゲタカジャーナル自体がオープンアクセスであることと
　ブラックリスト作成により調査自体は可能
・騙し取られたAPCの元は公的助成金という側面

4．ハゲタカジャーナルに巻き込まれないために

1．特徴を知る

2．学術出版業界のホワイトリストを確認する
- Committee on Publication Ethics (COPE) への参加
- Directory of Open Access Journals (DOAJ) への収録

3．収録基準を有する学術文献データベースを確認する
- Scopus（Elsevier社）
- Web of Science Core Collection（Clarivate Analytics社）

4．ブラックリストを確認する
- Beall’s List of Predatory Journals and Publishers ほか

5．謳われている評価指標を鵜呑みにしない

4．ハゲタカジャーナルに巻き込まれないために
1．特徴を知る

潜在的なハゲタカジャーナルに顕著な特徴13点を挙げた論文

Shamseer, Larissa, et al. “Potential predatory and legitimate biomedical journals: can you tell the difference? A cross-sectional comparison.” BMC medicine 15.1 (2017): 28.
https://doi.org/10.1186/s12916-017-0785-9

粥川準二氏による和訳および加筆

“「捕食ジャーナル」で誰が論文を発表しているのか？（後編）”より引用
https://www.enago.com/academy/jp/predatory-journal-2_201710 （参照 2018-10-22）

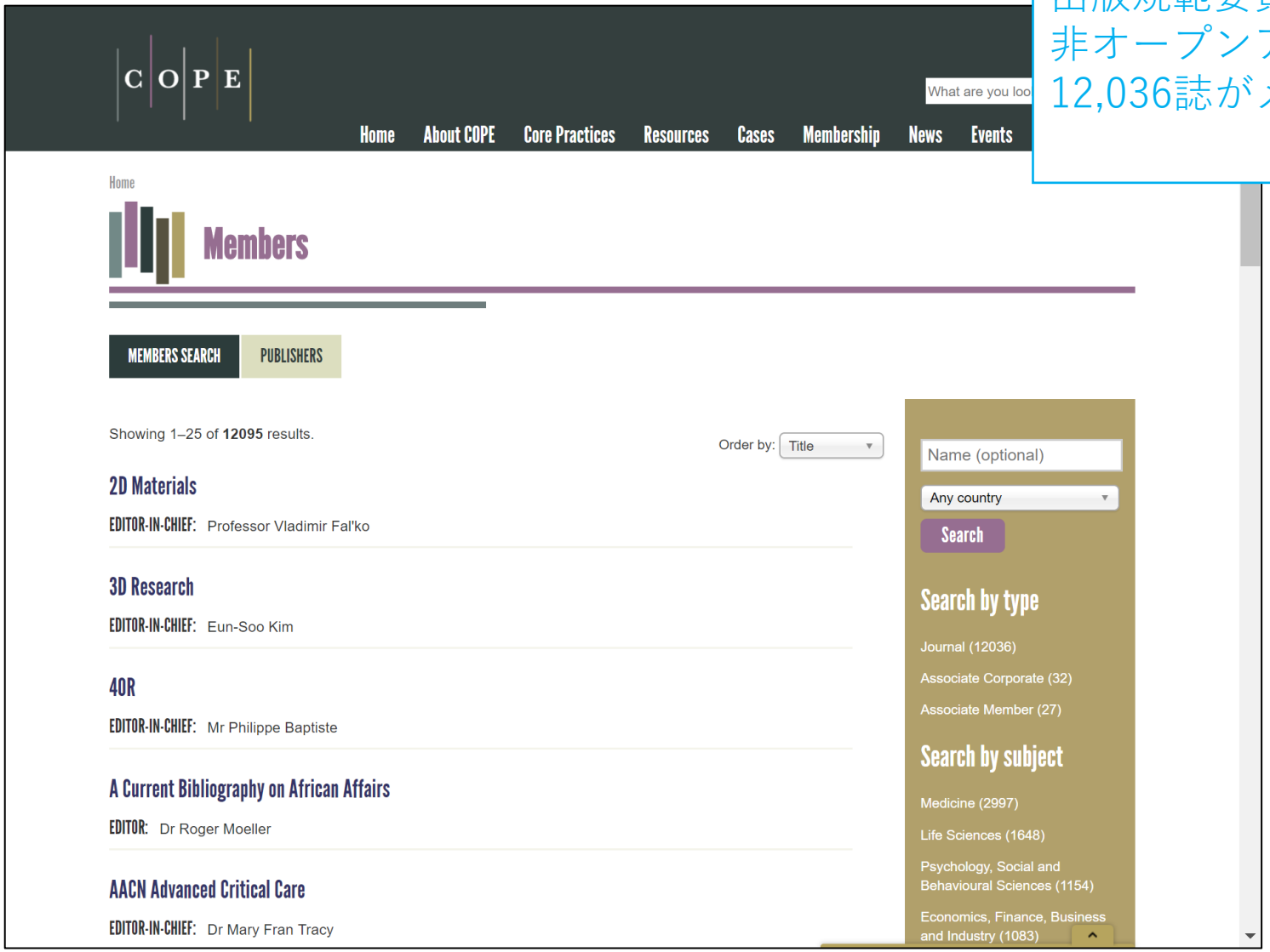
1. その対象範囲には、生物医学的なトピックと並んで非生物医学的なテーマが含まれる。
2. そのウェブサイトにはスペルや文法のエラーがある。
3. 画像が歪んでいたり、ぼやけていたりする。未許可のものである可能性もある。
4. そのホームページは読者ではなく著者らをターゲットにした言語で書かれている。
5. そのウェブサイト上で「インデックス・コペルニクス・ヴァリュー（ICV: The Index Copernicus Value）」が宣伝されている（ICVはジャーナルなどの価値を示す指標だが、その信頼性は疑問視されてきた）。
6. 原稿の取り扱いプロセスの説明が不足している。
7. 原稿は電子メールで投稿するよう要求されている。
8. 迅速な掲載が約束されている。
9. 撤回についてのポリシーが書かれてない。
10. ジャーナルの中身をデジタルで保存するかどうか、どのように保存するかについての情報が欠けている。
11. 論文加工掲載料は非常に安い（たとえば150ドル未満）。
12. オープンアクセスであると謳うジャーナルでは、掲載された研究の著作権を出版社が所持し続けることになるか、著作権に言及していないかのいずれかである（通常のオープンアクセス・ジャーナルでは、当然ながら著者に属することが保証されている）。
13. 連絡先にプロらしくなかったり、ジャーナルらしくないメールアドレス（たとえば@gmail.comや@yahoo.comなど）が使われている。

4．ハゲタカジャーナルに巻き込まれないために
2．学術出版業界のホワイトリストを確認する

Committee on Publication Ethics (COPE) - Members

https://publicationethics.org/members

出版規範委員会
非オープンアクセス誌も含めて
12,036誌がメンバーになっている
（参照 2018-10-23）

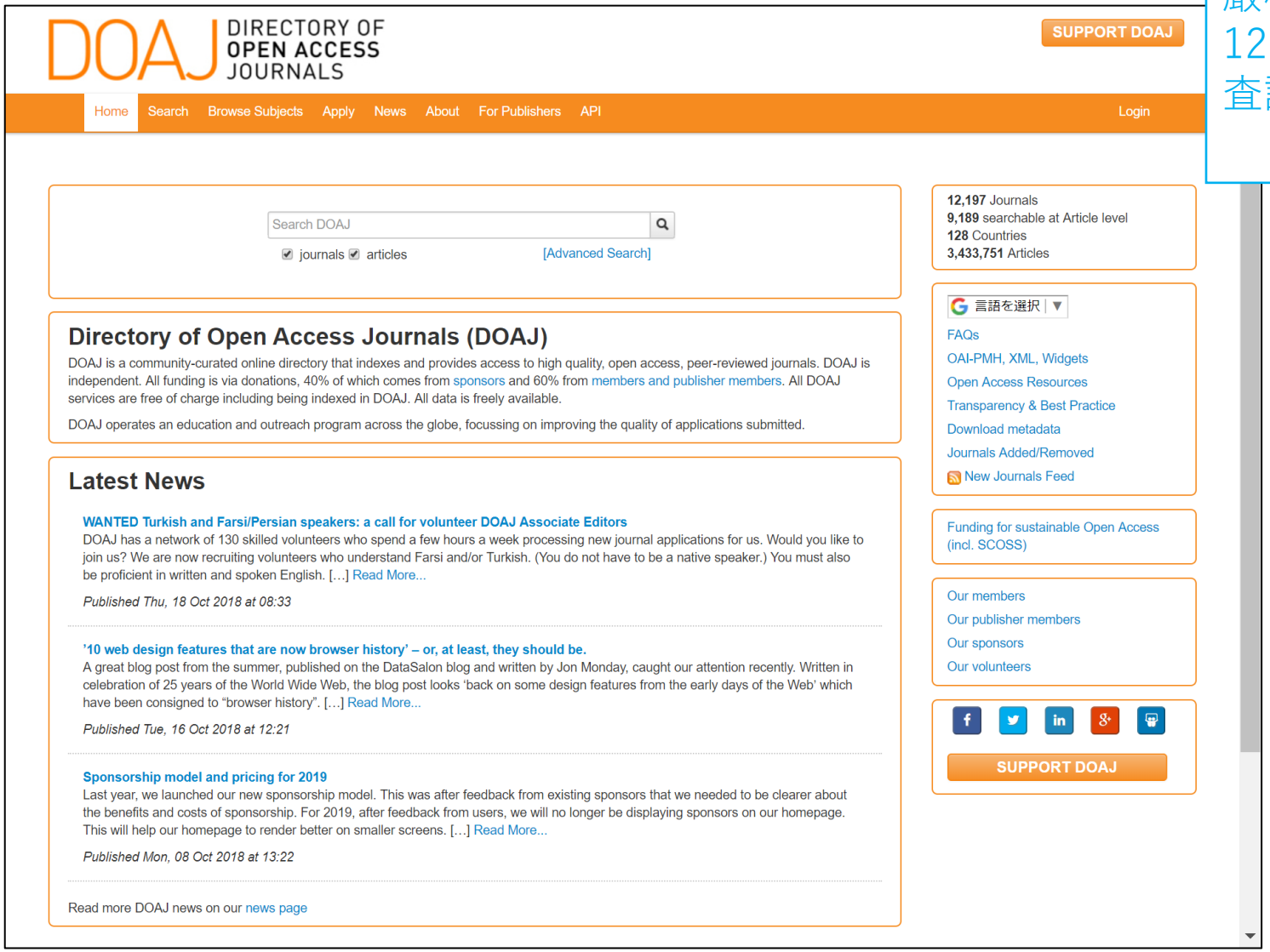


4．ハゲタカジャーナルに巻き込まれないために
2．学術出版業界のホワイトリストを確認する

Directory of Open Access Journals (DOAJ)

https://doaj.org

厳格な審査を通過した，
12,917のオープンアクセスの
査読誌が収録されている
（参照 2018-10-23）

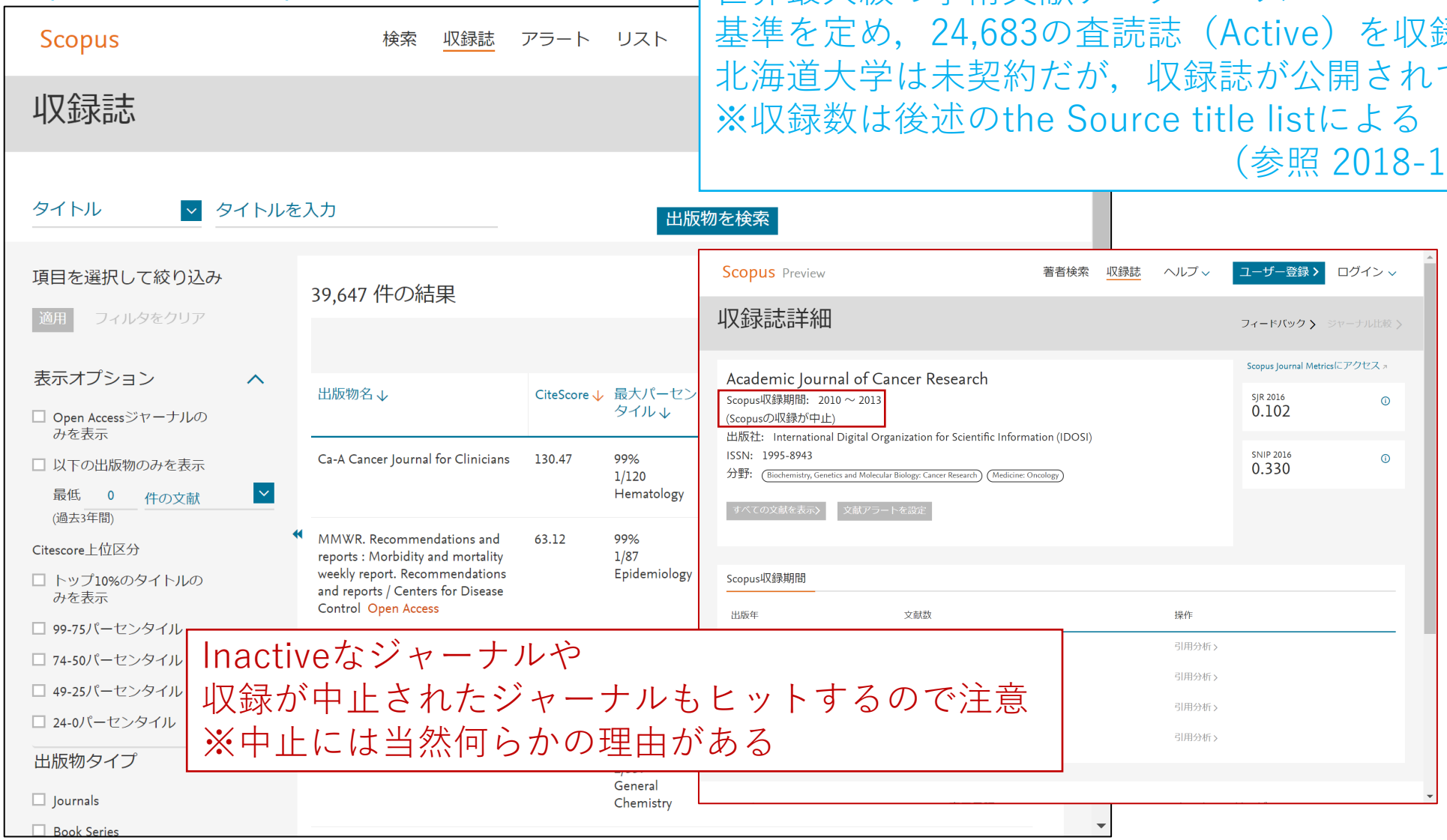


4．ハゲタカジャーナルに巻き込まれないために
3．収録基準を有する学術文献データベースを確認する

Scopus

https://www.scopus.com/sources

世界最大級の学術文献データベース
基準を定め，24,683の査読誌（Active）を収録
北海道大学は未契約だが，収録誌が公開されている
※収録数は後述のthe Source title listによる
（参照 2018-10-22）



Inactiveなジャーナルや
収録が中止されたジャーナルもヒットするので注意
※中止には当然何らかの理由がある

4．ハゲタカジャーナルに巻き込まれないために
3．収録基準を有する学術文献データベースを確認する

Scopus - the Source title list / the Scopus Discontinued titles list

https://www.elsevier.com/solutions/scopus/how-scopus-works/content

ELSEVIER

SEARCH CART

› Learn more about Content Selection and Title Re-evaluation Policies

上記リンク先の下部からScopusのタイトルリスト（中止も含む）と中止リストをダウンロードできる

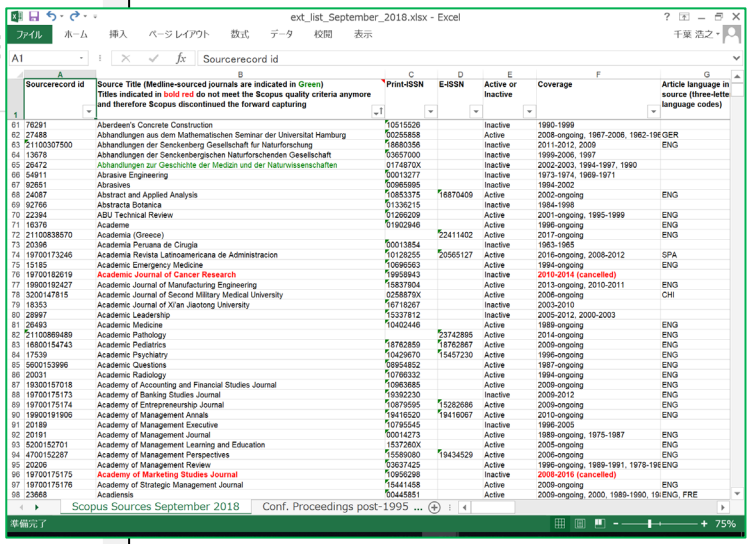
Looking for something else?

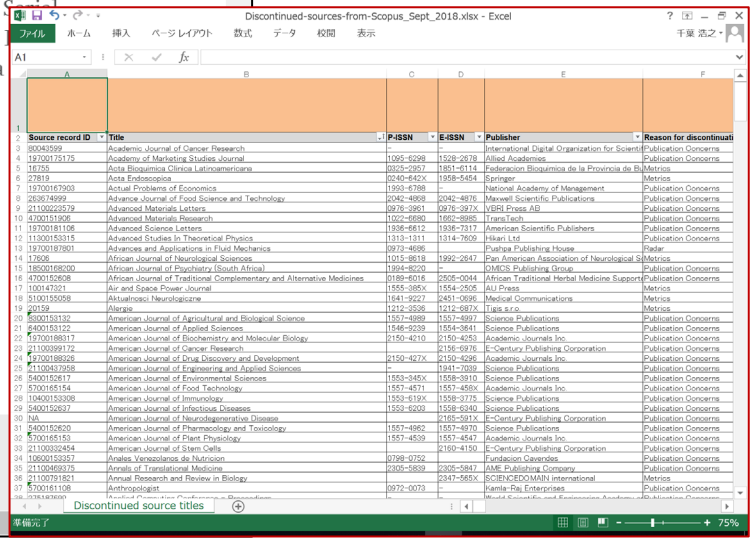
Content types included on Scopus are either serial publications that have an ISSN (International Standard Serial Number) such as journals, book series and some conference series, or non-serial publications that have an ISBN (International Standard Book Number) like one-off book publications or one-off conferences. To check if a title is on Scopus, visit the freely available Source Title page, or consult the titles lists below.

› Download the Source title list (XLSX, 16.2 MB)

› Download the Book title list (XLSX, 14.4 MB)

› Check the Scopus Discontinued titles list (XLSX, 101.5 KB)





Scopus

Stay in touch

Visit the Scopus blog

Support

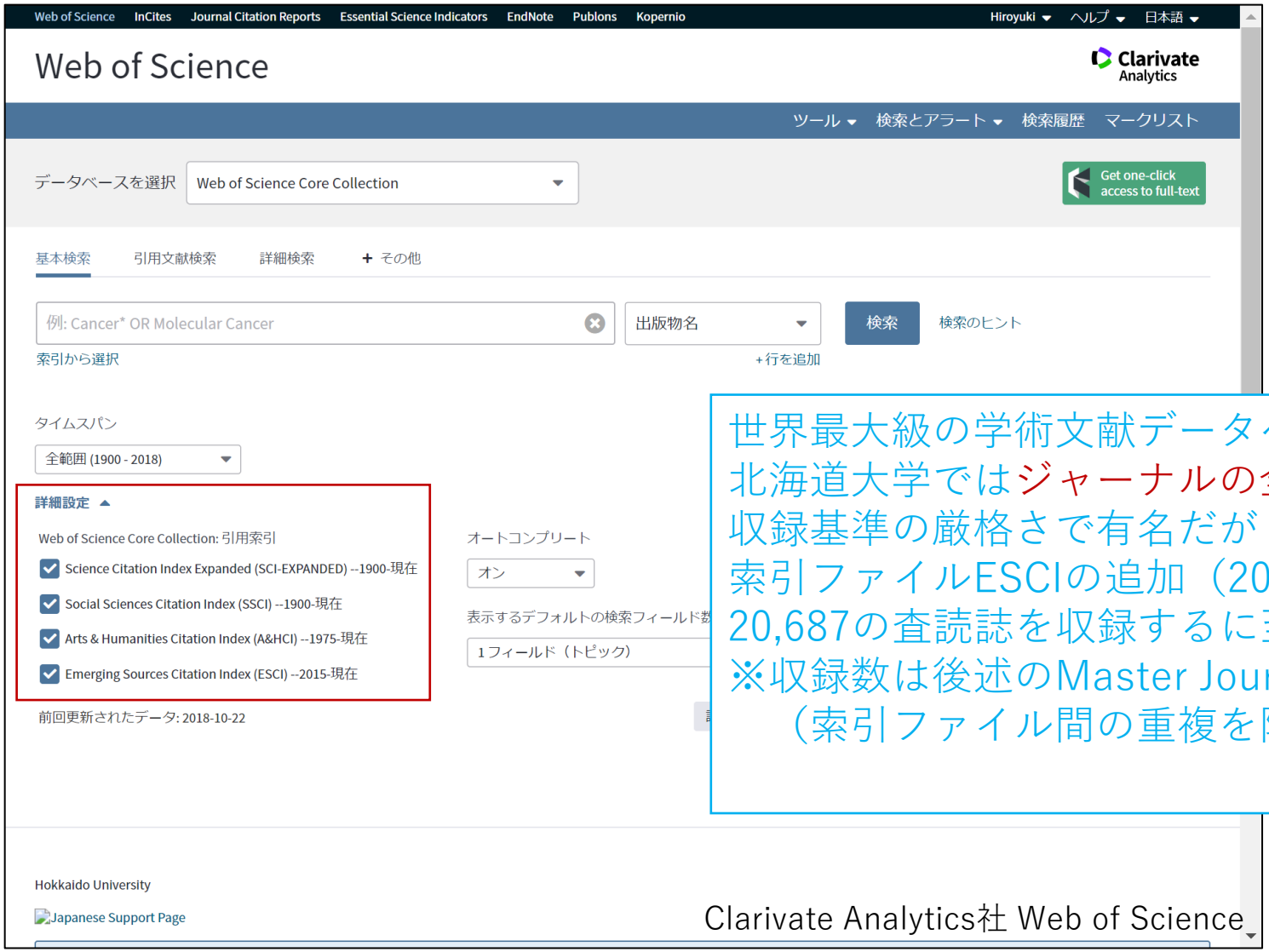
Visit Scopus support

Follow Scopus

4．ハゲタカジャーナルに巻き込まれないために
3．収録基準を有する学術文献データベースを確認する

Web of Science Core Collection - SCI-E, SSCI, A&HCI, & ESCI

http://webofknowledge.com/wos



Clarivate Analytics社 Web of Science

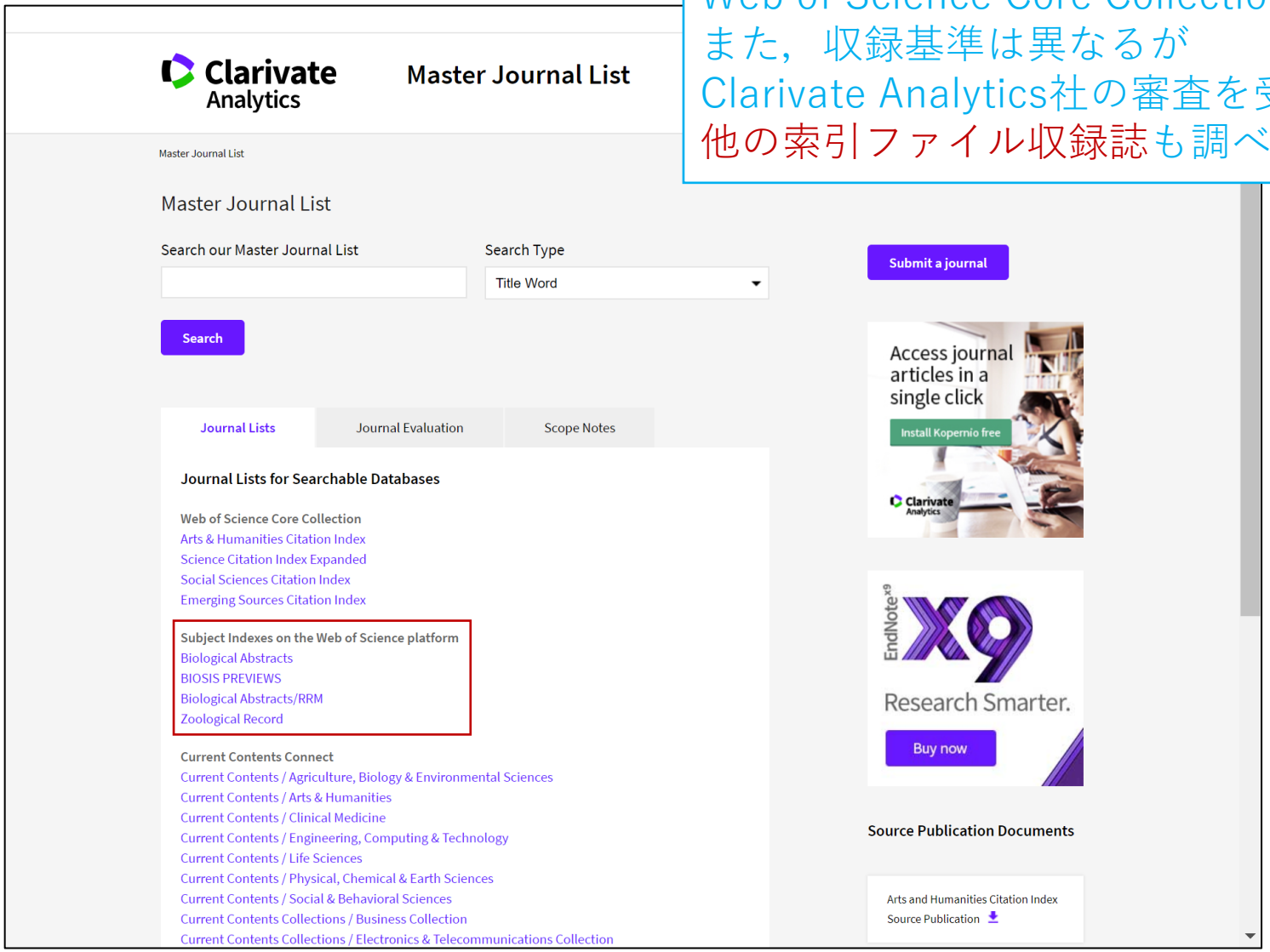
世界最大級の学術文献データベース
北海道大学ではジャーナルの全索引ファイルを利用可能
収録基準の厳格さで有名だが
索引ファイルESCIの追加（2015年）により
20,687の査読誌を収録するに至る
※収録数は後述のMaster Journal Listの数え上げ
（索引ファイル間の重複を除外）による
（参照 2018-10-22）

4．ハゲタカジャーナルに巻き込まれないために
3．収録基準を有する学術文献データベースを確認する

Web of Science - Master Journal List

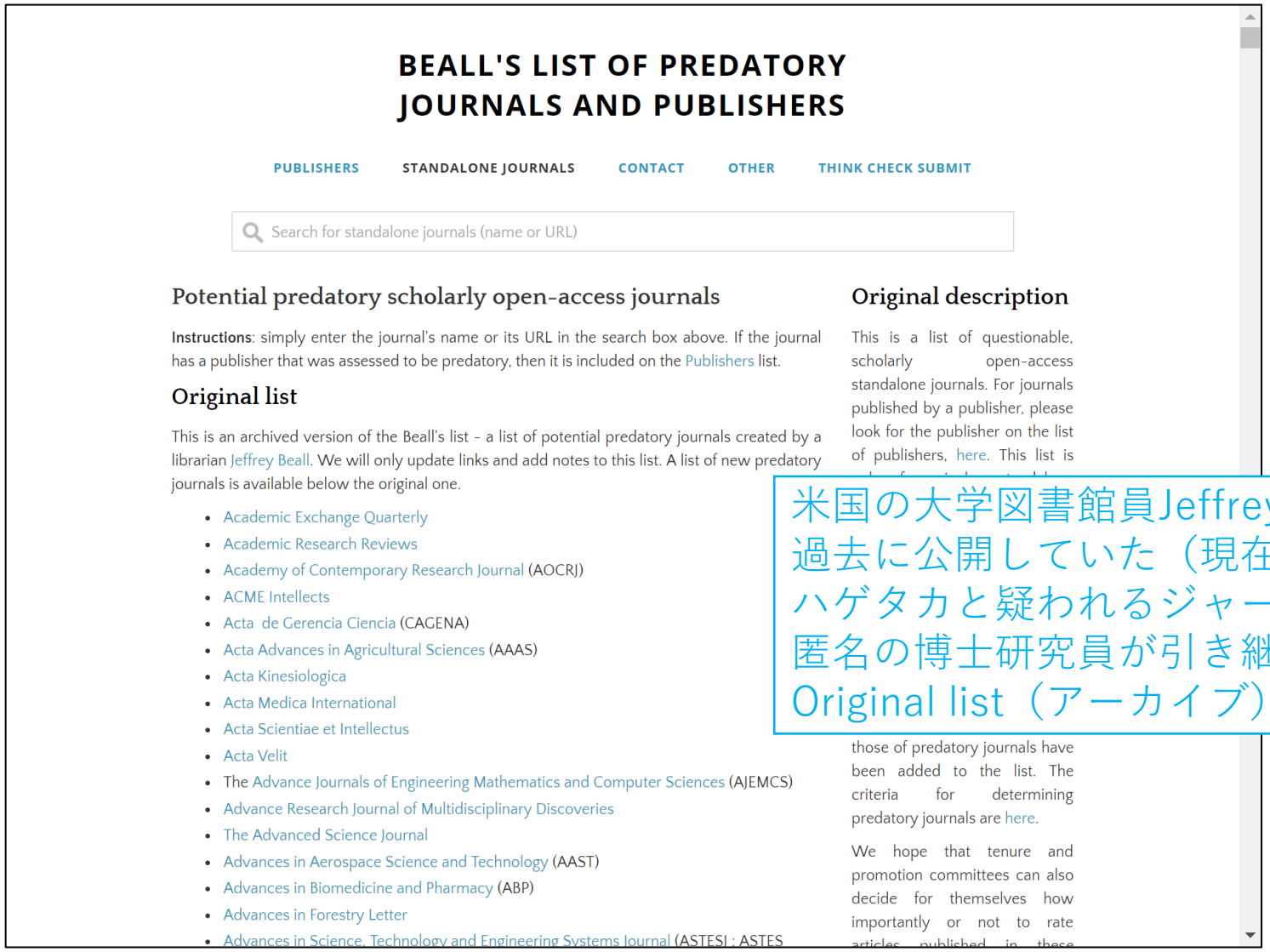
http://mjl.clarivate.com

Web of Science Core Collection収録誌は公開されている
また，収録基準は異なるが
Clarivate Analytics社の審査を受けた，
他の索引ファイル収録誌も調べられる



4．ハゲタカジャーナルに巻き込まれないために
4．ブラックリストを確認する

Beall's List of Predatory Journals and Publishers
https://beallslist.weebly.com



BEALL'S LIST OF PREDATORY JOURNALS AND PUBLISHERS

PUBLISHERS　STANDALONE JOURNALS　CONTACT　OTHER　THINK CHECK SUBMIT

Search for standalone journals (name or URL)

Potential predatory scholarly open-access journals

Instructions: simply enter the journal's name or its URL in the search box above. If the journal has a publisher that was assessed to be predatory, then it is included on the Publishers list.

Original list

This is an archived version of the Beall's list - a list of potential predatory journals created by a librarian Jeffrey Beall. We will only update links and add notes to this list. A list of new predatory journals is available below the original one.

- Academic Exchange Quarterly
- Academic Research Reviews
- Academy of Contemporary Research Journal (AOCRJ)
- ACME Intellects
- Acta de Gerencia Ciencia (CAGENA)
- Acta Advances in Agricultural Sciences (AAAS)
- Acta Kinesiologica
- Acta Medica International
- Acta Scientiae et Intellectus
- Acta Velit
- The Advance Journals of Engineering Mathematics and Computer Sciences (AJEMCS)
- Advance Research Journal of Multidisciplinary Discoveries
- The Advanced Science Journal
- Advances in Aerospace Science and Technology (AAST)
- Advances in Biomedicine and Pharmacy (ABP)
- Advances in Forestry Letter
- Advances in Science, Technology and Engineering Systems Journal (ASTESJ : ASTES

Original description

This is a list of questionable, scholarly open-access standalone journals. For journals published by a publisher, please look for the publisher on the list of publishers, here. This list is

those of predatory journals have been added to the list. The criteria for determining predatory journals are here.

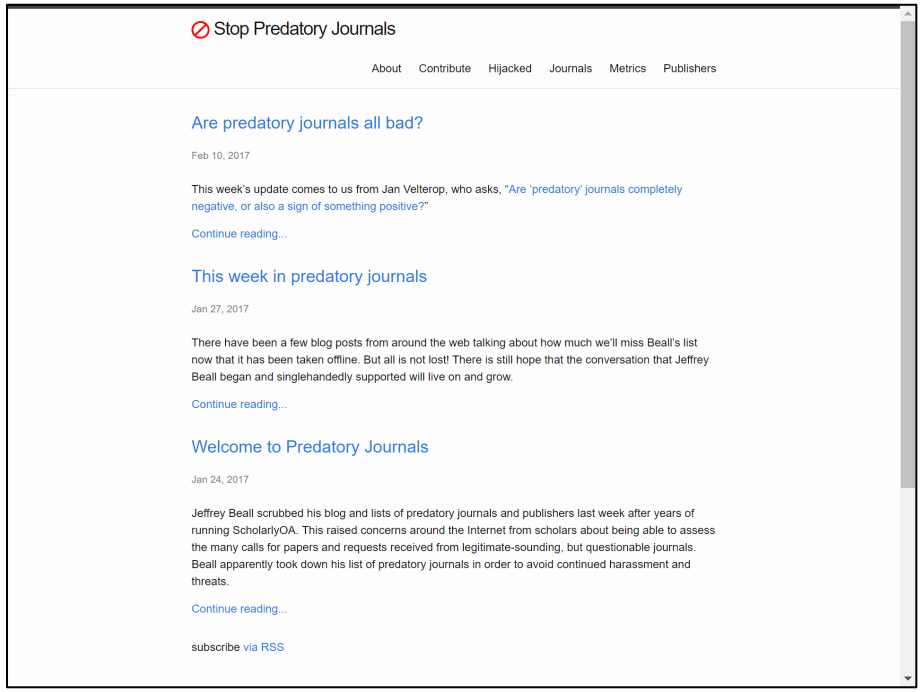
We hope that tenure and promotion committees can also decide for themselves how importantly or not to rate

米国の大学図書館員Jeffrey Beall氏が
過去に公開していた（現在は閉鎖している）
ハゲタカと疑われるジャーナル・出版社のリストを
匿名の博士研究員が引き継いだもの
Original list（アーカイブ）とUpdate（新規）で構成

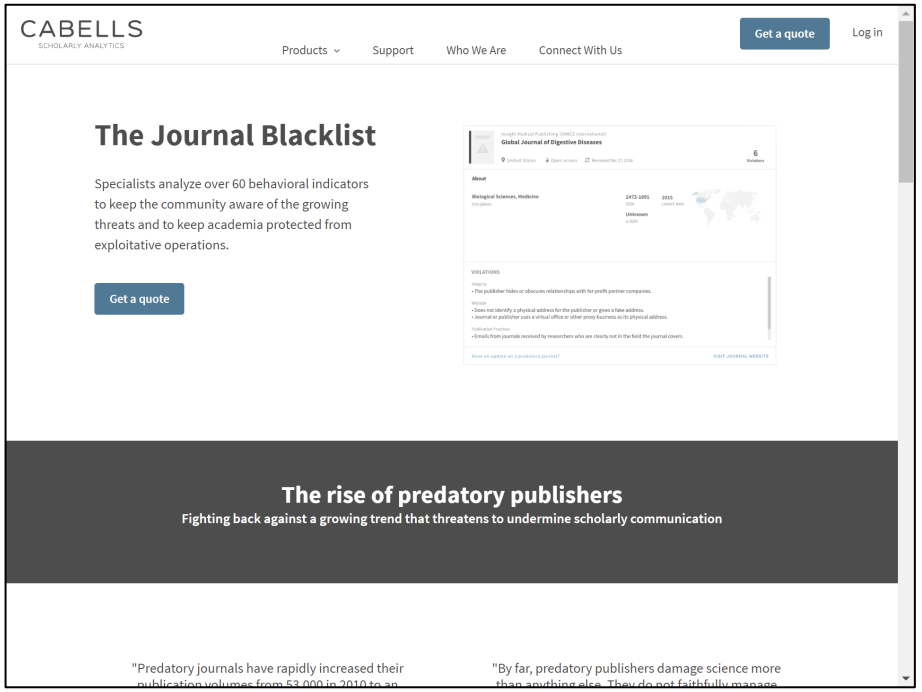
4．ハゲタカジャーナルに巻き込まれないために
4．ブラックリストを確認する

その他のブラックリスト

・Stop Predatory Journals
https://predatoryjournals.com
Beallのリストのアーカイブ？
2017年2月以降更新がない？



・Cabell's Blacklist (& Whitelist)
https://www2.cabells.com/about-blacklist
https://www2.cabells.com/about-whitelist
有料（個人購読には非対応）



4．ハゲタカジャーナルに巻き込まれないために
5．謳われている評価指標を鵜呑みにしない

インパクトファクター（JIF：Journal Impact Factor）

・Clarivate Analytics社が算出・提供
・Web of Science Core Collectionの索引ファイルのうち
SCI-E（自然科学）とSSCI（社会科学）の収録ジャーナルが対象
・計算式の関係で，創刊から3年が経過しないと算出できない

・Journal Citation Reports（JCR）で調査可能
http://jcr.incites.thomsonreuters.com

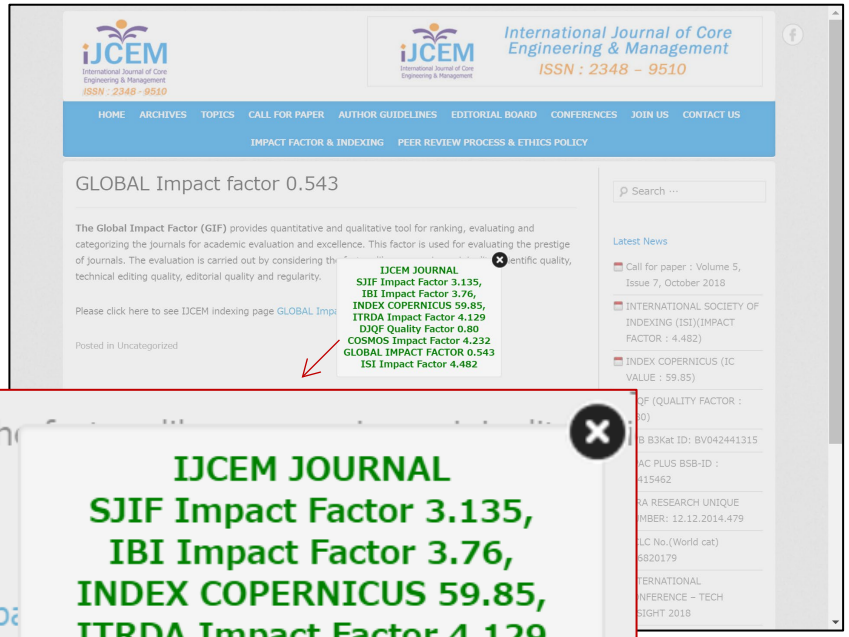


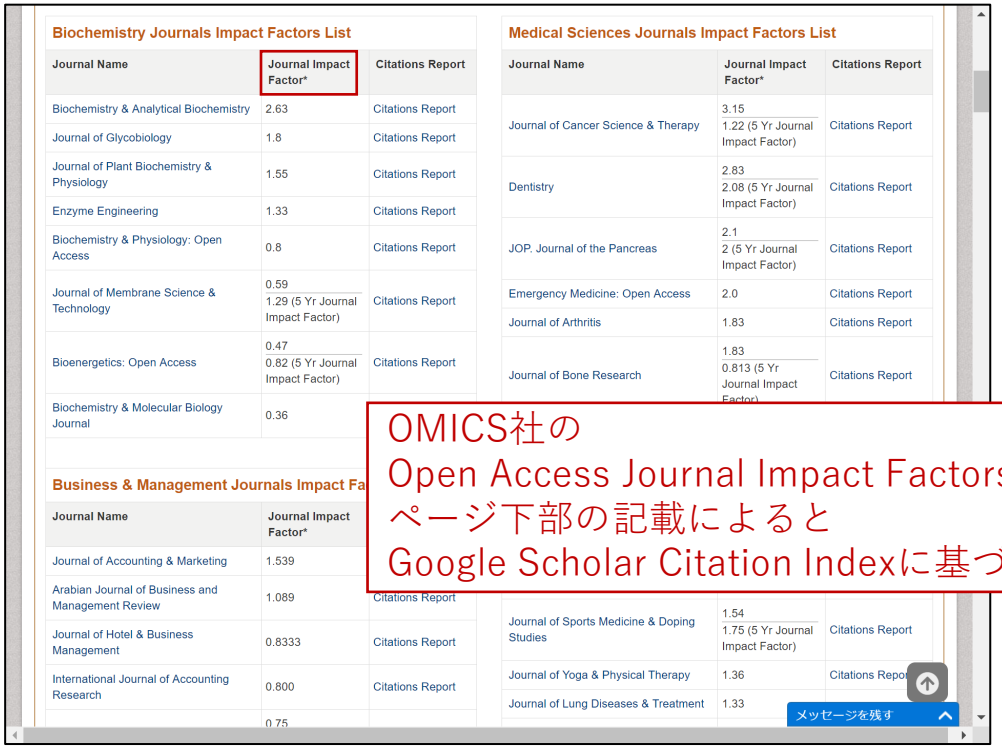
Clarivate Analytics社 Journal Citation Reports

4．ハゲタカジャーナルに巻き込まれないために
5．謳われている評価指標を鵜呑みにしない

様々なインパクトファクターが謳われているが
いずれも少なくともClarivate Analytics社のJIFではない



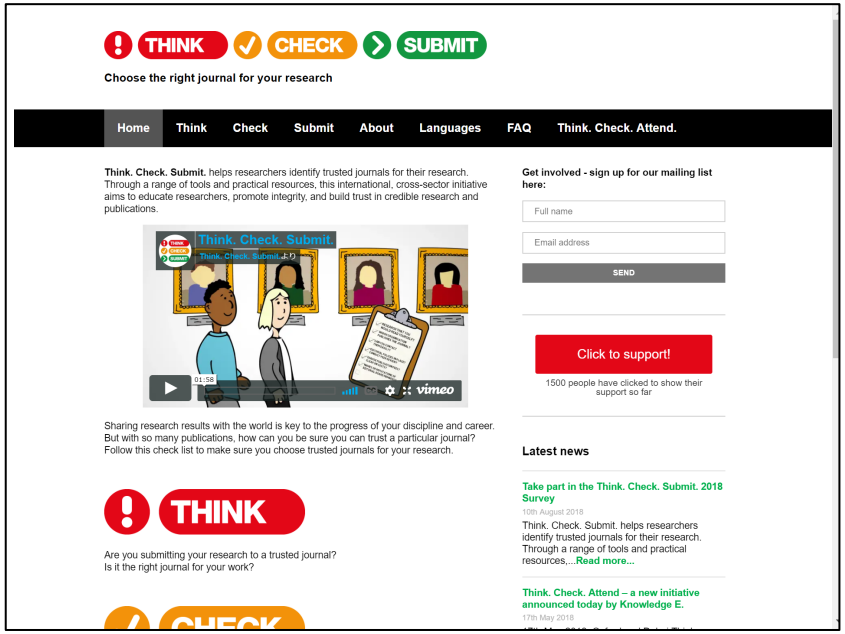


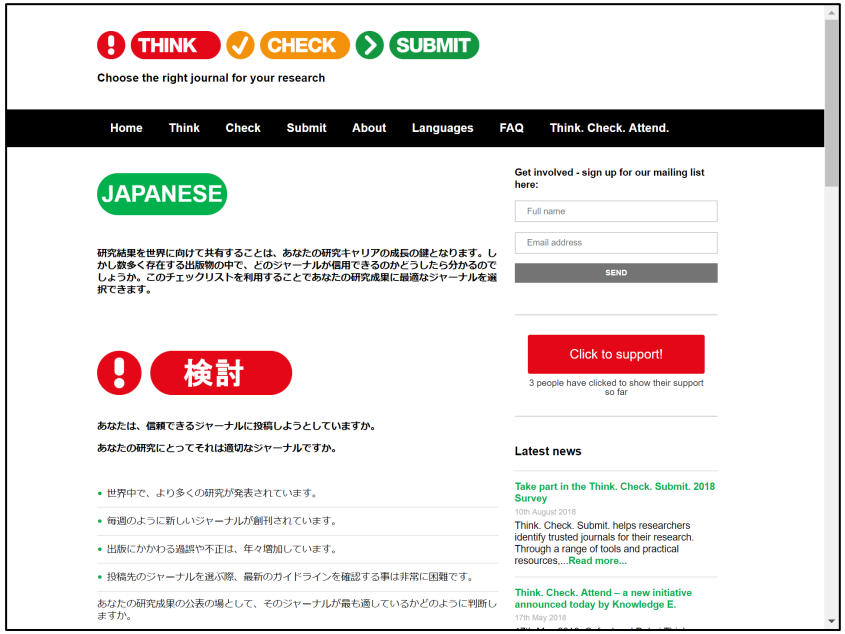


OMICS社の
Open Access Journal Impact Factorsのリスト
ページ下部の記載によると
Google Scholar Citation Indexに基づくとのこと

5．リテラシー・冷静さ・コミュニケーションがカギ

Think. Check. Submit.
https://thinkchecksubmit.org
http://thinkchecksubmit.org/translations/japanese





「あたりまえ」の結論ですが，以下が重要だと思います
・甘い話（過度に持ち上げた投稿依頼，早すぎる出版）に乗らない
・“Publish or perish”の過度なプレッシャーに負けない
・上司や同僚に相談する（周辺・動向調査なら図書館職員にも）

ASK
ME
ANYTIME:

kitacam@lib.hokudai.ac.jp